

## 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の不活化効果を実証

株式会社バイオベルデ (代表取締役: 玄 優基、本社: 京都市南区) は、エピガロカテキンガレート (EGCg, (-)-epigallocatechin-3-O-gallate) を使用したタブレット・ハードカプセルにおいて、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に不活化効果を実証しましたので、お知らせいたします。

## EGCg タブレット・ハードカプセルと新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に関する研究概要

本研究における新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の不活化効果の評価試験

- 試験実施機関: 株式会社食環境衛生研究所 (群馬県前橋市)
- 検証ウイルス: 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)
- 試験方法: 対照区: リン酸緩衝液  
試験区1: EGCg 含有タブレットと精製水の懸濁液 (比率: 1 : 1.5)  
試験区2: EGCg 含有ハードカプセルと精製水の懸濁液 (比率: 1 : 1.5)

対照区および試験区1、2に新型コロナウイルス液を 10 : 1 の割合で混合し、室温 (25°C) で5分静置しました。感作終了後、「ウイルス実験学 総論 改訂二版 丸善株式会社 ウイルス中和試験法」を参考に測定しました。

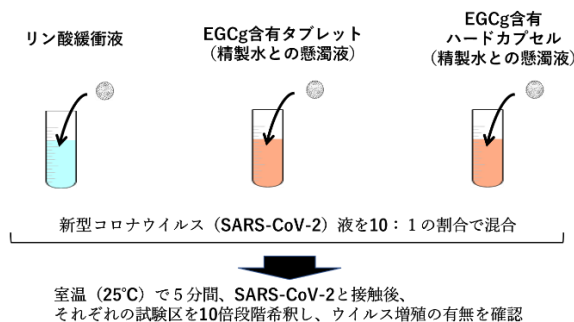
### EGCg 含有タブレット



### EGCg 含有ハードカプセル



### <試験方法イメージ>



### ■ 結果:

EGCg 含有により、ウイルス量は  $10^{6.7}$  TCID<sub>50</sub>/mL から、試験区1では  $10^{5.7}$  TCID<sub>50</sub>/mL (90.0%減少)、試験区2では  $< 10^{4.5}$  TCID<sub>50</sub>/mL (99.4%減少) の不活化効果があることが判明しました。

